

“うまくいった理由”から学ぶ医療安全

～レジリエンスの視点で～

レジリエンスとは:状況の変化や予期しない事態が起きたとき、現場が柔軟に対応し、安全に業務を継続できる能力

Safety-I

“失敗”を防ぐ取り組み

- なぜエラーが起きたのかを振り返る(原因を分析し、再発防止策を講じる)
- 失敗から学び、次に活かす
- 事故やエラーの再発防止に欠かせない視点

目的 「同じエラーを繰り返さない」ための学び



両方の側面から
考えることが
安全文化を育てる
第1歩

Safety-II

“成功”を増やす(支える)取り組み

- なぜ上手くいっているのか?に注目する
- 日常の中で臨機応変に調整しているからこそエラーを防いでいる
- うまく乗り切った現場の知恵を皆で共有する

目的 「うまくいく理由を見つけ更に強化する」ための学び

『現場力』が安全をつくる時代へ～Safety-IIの挑戦～

成功事例の1例

状況

トイレで排泄後の転倒(見守り・介助が必要な患者)に対して

実施した対応

- 従来は、患者さんへ「終わったらコールしてください」と伝えていた
- 「座ったままナースコールを押してください」に変更
- トイレにポスター掲示



結果

トイレでの転倒件数が減少

成功した要因

- 多職種で検討し、患者さんにとってわかりやすい説明に変更
- 気兼ねせずコールを押すことができる

“うまくいく”ことにはどんな理由がある?

レジリエンスのステップ

- ① 予期する
- ② 監視する
- ③ 対応する
- ④ 学習する

成功の理由を言葉にして皆で共有しよう!

あなたの工夫が医療の現場を支えています。

ありがとう
Good job



医療安全管理責任者、安全管理に携わる皆さん



「支部医療安全交流会」に参加して、
相談や情報交換、解決に向けたスキルを高め合おう

大阪府看護協会では、安全管理に携わる者で構成する「医療安全対策委員会」を中心とした11支部の医療機関が、「支部医療安全交流会」に参加してネットワークの構築を図っています。医療安全管理者として、ぜひ参加しませんか。



参加はこちらをクリック!